

この世の中、何があるか分からない

2001年の9月11日 アメリカ 同時多発テロ

犯人以外、直前まで予想もしていなかった突然の死

2011年の3月11日 日本 東日本大震災

悪意のない自然災害だが、戦争を除くと圧倒的規模の大惨事

2020年からの新型コロナウイルス感染爆発「パンデミック」

テロや自然災害、感染症によって命を落とすことを、100%避けることは無理
病気、交通事故、犯罪被害など、様々なアクシデントが人生にはあり得る

人生はいつ何があるか分からないし、思い通りに運ぶわけじゃないのに、自分自身の将来や、世界のよりよい未来について考えることに、意味があるのか？

平均寿命、平均余命はどんどん延びている

2020年の平均寿命 男性81.64歳 女性87.74歳

例えば1年生の平均余命 73年くらい

医療を始めとする科学の進歩は日進月歩の勢い

皆さんが85～86歳を迎える頃には、

日本人は普通に100歳まで生きるようになってきているのでは？

平均寿命、平均余命はどんどん延びている

73年前、1947年当時の平均寿命は？

80代 70代 60代 50代 40代

正解：50代（男性50歳、女性54歳）

平均寿命が男女ともに50歳を超えたのは、この年が初めて

平均寿命、平均余命はどんどん延びている

73年間で延びた平均寿命 男31歳、女33歳（60%以上の延び率）

もしこれからの73年間で同じように60%も寿命が延びるとしたら
男130歳超、女140歳超（普通に100歳以上は長生きするのでは？）

将来のことを考えないでいると

70年とか80年とかの年月を行き当たりばったりで生きること

自分自身の将来や、世界の未来について考えないわけにはいかない

では、どう考えればいいのか？

続きは次回です。

次回予告

「73年前の世界、73年後の世界」

ご清聴ありがとうございました。

この世の中、何があるか分からない

私にとって15歳から59歳までは、確定された過去の45年間の歴史、自分史ですが、その話を皆さんが聞いて、これから未来の45年、あるいは更にその先の人生をどう生きようか、なんて考えることは難しいと思います。たとえ考えてみたところで、何があるか分からないこの世の中、考えた通りに運ぶとは限りません。

21世紀になって最初の年、2001年の9月11日に、この世界で何が起こったか、皆さん知っていますか？ 皆さんがまだ生まれる前のことですが、アメリカ合衆国で同時多発テロが起こりました。ニューヨークでは、世界一の高さを誇っていたワールドトレードセンタービル2棟が、ハイジャックされた旅客機2機に激突されて崩壊しました。犯人たちを含め3千人もの人々が亡くなりました。犯人以外は、直前まで予想もしていなかった突然の死です。さらに、そのテロをきっかけに、アメリカ合衆国はテロ組織の壊滅を目指してアフガニスタンに侵攻しましたが、今年8月末にアメリカ軍が撤退するまでの20年間で、25万人もの人々が命を落としたと言われていています。天寿を全うしたとは言い難い、突然の死だったろうと思います。

同時多発テロの10年後の2011年の3月11日に起こったことは皆さん知っていますね？ 皆さんがまだ幼児だった時に発生した東日本大震災です。元になったのは、三陸海岸沖海底で起こった観測史上日本最大の大地震です。それによってもたらされた津波によって、今なお2500人以上の人々が行方不明のままであり、1万6千人近い人々が亡くなりました。テロとは違い、人間の悪意とは無関係の自然災害ですが、戦争を除くと圧倒的規模の大惨事です。

さらにその10年後の今年2021年は、言うまでもなく昨年1月から日本でも発生した新型コロナウイルスの感染拡大です。昨年3月にWHO、世界保健機関が「感染爆発ーパンデミック」と認定した新型コロナウイルスの感染が爆発的に広がり、昨日までに全世界で新型コロナウイルス感染症により命を落とした人々が何人くらいいるのか、知っていますか？ 近くの人と考えを共有してみてください。499万数千人、実に500万人近い人々が亡くなっているとのことです。

こうしたテロや自然災害、感染症によって命を落とすことは、考えたくはないけれども現実にあります。もしかしたら様々な備えによって、そういった危険度を下げることができるかも知れませんが、100%避けることは無理です。

また、仮にこういった歴史的な大惨事に出くわす偶然を免れたとしても、様々なアクシデントが人生には付きものです。病気、交通事故、犯罪被害など、いつでも誰にでも起こり得る悲劇は沢山あります。

このように、人生はいつ何があるか分からないし、思い通りに運ぶわけじゃないのだから、自分自身の将来について考えることや、MOISの哲学である「世界のよりよい未来」を目指すことには、あまり意味がないのではないのでしょうか？ どうでしょうか？

平均寿命、平均余命はどんどん延びている

さて、何があるか分からないこの世の中、考えた通りに運ぶわけがないとは言え、それでも日本人の平均寿命は年々延びています。厚生労働省が7月末に発表した最も新しい平均寿命は、昨年2020年のデータで、男性が81.64歳、女性が87.74歳です。これは、昨年

生まれた男の子は平均して 81,2 歳まで生きる、女の子は平均して 87,8 歳まで生きる、そういうことです。

では、ここにいる皆さんは、平均してあと何年くらい生きるのでしょうか。ある年齢の人があと何年生きるか、これを平均余命と言いますが、少し大雑把に言うと、例えば 1 年生の皆さんは、今のところ平均してあと 73 年くらい生きるってことになります。2 年生で 72 年、3 年生で 71 年というところでしょう。

「今のところ」と言うのは、医療を始めとする科学の進歩は日進月歩の勢いですから、皆さんが平均余命の 72,3 年を生き抜いて、85,6 歳を迎える頃には、日本人の平均余命は更に延びていて、普通に 100 歳まで生きようになっていると考えられます。人生 100 年時代というのは、そういうことです。

ところで、日本で第 2 次世界大戦中は中断されていた平均寿命の統計が再開されたのが、今から 73 年前の 1948 年だそうで、前年の 1947 年データによる統計が残っています。さて、ここで問題です。2020 年の平均寿命は男性約 81 歳、女性約 87 歳ですが、73 年前の 1947 年当時の平均寿命は、男性と女性を合わせて何歳くらいだったでしょう？ 80 歳代とか 60 歳代とか、おおよその年齢で構いません。ちょっと考えてみてください。先生方も一緒にどうぞ。そうしたら、近くの人と考えを共有してみてください。

では、皆さんに訊きます。73 年前の平均寿命は何歳くらいだったか。80 代から 10 歳刻みで 70 代、60 代、50 代、40 代と順に訊きますので、一度だけ手を挙げて答えてください。

では、80 代だと思ふ人。70 代。60 代。50 代。40 代。

ありがとうございました。正解は、50 代です。男性が 50 歳くらい、女性が 54 歳くらいです。えーっ、そんなに若い?! って思いませんか？ しかも平均寿命が男女ともに 50 歳を超えたのは、この 1947 年が初めてで、戦前はともに 40 代でした。もちろん長寿の方も沢山いましたが、平均では戦後になってやっと 50 代になったのです。

そして、この 73 年間で延びた平均寿命は、男性 31 歳、女性 33 歳です。率にすると、男女とも、なんと 60% 以上の伸び率です。先ほど 1 年生の皆さんの平均余命は約 73 年だと言いましたが、もしこれから 73 年間で同じように 60% も寿命が延びるとしたら、73 年後に生まれる男性の平均寿命は 130 歳を超え、女性は 140 歳を超えることになります。なんて、さすがにそこまで寿命は延びないにしても、その時には 80 歳を超えている皆さんも、普通に 100 歳以上は長生きするって思いませんか？

これらのことは、先ほどお話ししたような突発的で大規模な死の可能性や、ありふれた日常的な死の危険性をも含んだ統計に基づいていますので、そう考えると、人生はいつ何があるか分からないからと言って将来のことを考えないでいると、この先の 70 年とか 80 年とかの長い年月を、行き当たりばったりで生きることになりそうです。つまり皆さんは、自分自身の将来について、そしてその前提となる世界の未来について、考えないわけにはいかないのです。

では、どう考えればいいのでしょうか？

今回の話はここまでです。次回 12 月の朝礼では、「73 年前の世界、73 年後の世界」についてお話しします。お楽しみに。ご清聴ありがとうございました。